

第1回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の報告について

5月20日に開催予定であったいじめ防止対策評価検証委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により、会議体として実施せず、紙面により評価検証を実施しました。

議事

1 令和元年度取組状況に係る評価検証(3学期)

(1) 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画の取組状況(令和元年度3学期分)について

<事務局説明>

- ① 未然防止への取組について
 - ・第12回加古川教育フォーラムの開催(2月15日)
- ② 早期発見、早期対応への取組について
 - ・令和元年度第2回学校生活適応推進研修会の開催(2月6日)
- ③ 関係機関との連携を強化した取組について
 - ・スクールサポートチームによる学校支援の活動実績
- ④ 推進体制・検証体制を整える取組について
 - ・中学校生徒指導担当者会及び小学校生徒指導部会との連携
 - ・H29年度:290件、H30年度:676件、R元年度:1,189件、2年間で約4.1倍増

(2) 令和元年度いじめ認知件数の現状

<事務局説明>

- ・いじめの様態、発見のきっかけ等の件数

<委員の主な助言等>

- ・いじめが教職員に認知され、児童生徒が教職員に相談されていることは評価できる。
- ・いじめ見逃しゼロに向けた取組に関し、学級経営上の工夫例を紹介いただきたい。

2 令和元年度取組状況に係る評価検証(年間)

(1) 令和元年度加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画の取組状況について

<事務局説明>

- ・市教委の取組状況の、「結果・効果」「評価」「次年度展開」を報告

(2) 令和元年度いじめ防止対策改善プログラム自己点検シート(まとめ)について

<事務局説明>

- ・校種別に自己評価の内容を報告

<委員の主な助言等>

- ・5か年計画の2年間の取組は評価できる。残り3年でさらに充実してほしい。
- ・仲裁者あるいは脱傍観者を育成することが重要である。
- ・いじめケース会議の実施前と実施後との間にどのような違いがあるのか、ケース会議の意義について検討し、数量化して資料化すべきと考える。

3 令和2年度「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画」の推進に係る報告

(1) 加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画(2020年度版)について

<事務局説明>

- ・5か年計画の2年間の取組を今後も継続できるよう「持続可能ないじめ防止対策の構築」を計画に記載

(2) 加古川市いじめ防止対策改善プログラム 全体計画・年間計画(各学校分)について

<事務局説明>

- ・全体計画の取組を紹介

<委員の主な助言等>

- ・いじめの加害側児童生徒の育ちや、支援がどのようになされたのか知りたい。
- ・改善プログラムを実行する上で、どのような課題が見えてきたのかを教示願いたい。
- ・5か年計画に、いじめケース会議の取組の充実や、いじめ理解の深化への取組の推進を加えていただきたい。
- ・児童の権利に関する条約に基づく取組を実施する必要がある。

4 令和2年度の推進体制について

(1) 令和2年度「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画」及び「いじめ防止対策改善プログラム」推進体制について

<事務局説明>

- ・5か年計画及び改善プログラムの年間の実施スケジュールを説明

(2) 令和2年度学校生活適応推進事業実施要項について

<事務局説明>

- ・アセス、心の相談アンケート、教育相談、研修の実施及び自殺予防教育の実施を説明

5 令和2年度 第2回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について

- ・令和2年度第2回委員会では1学期の取組状況に係る評価検証を実施
- ・令和2年10月27日(火)開催

6 その他

新型コロナウイルス感染拡大にかかる臨時休校に伴う児童生徒に対する支援について説明

7 評価検証委員の総括

- ・教員のいじめ認知に対する理解がより高まっていることがうかがえる。また、教育相談の件数の高さは、子どもが教員に相談できることを示唆していると思われ、いじめに関する学校内での信頼関係が醸成されていると思う。
- ・全体的に、計画した事柄に対する実施は順調に進んでおり、教育委員会やそれぞれの学校ともに特段の問題はないと思う。
- ・子どもの心を耕すことや、教員の子どもに寄り添う姿勢などの向上に尽力していただきたい。